

2023年5月26日
イオン東北株式会社
マックスバリュ南東北株式会社

県・町のキャラクター入りマイバスケットで環境啓発 「ご当地マイバスケット」を数量限定で発売！

プラスチックごみの削減に向け、秋田県・宮城県・利府町とともに取り組みます

イオンは6月1日（木）より、秋田県・宮城県の「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」など61店舗※で、県や町の「ゆるキャラ」や「環境のキャラクター」などを配したマイバスケットを数量限定で販売します。



マイバスケットは、お買い物の際にお客さまご自身に持参いただくことで、レジ袋に入れ替えることなくお持ち帰りいただける専用かごです。イオンでは、買物袋持参運動の一環としてマイバスケットの展開を業界では先駆けとなる2000年に開始しました。

秋田県・宮城県・利府町とイオンは、それぞれ包括連携協定を締結し、地産地消や観光・物産振興、環境保全等に関する取り組みを実施しています。この包括連携協定の取り組みの一環として、地域の皆さまにマイバッグ・マイバスケット持参を呼び掛け、お買い物時の使い捨てプラスチックを削減するために、6月の環境月間からご当地マイバスケットを販売します。

秋田県の店舗ではあきたPRキャプテン「んだッチ」と、ストップ・ザ・温暖化あきたマスコットキャラクター「あすぴー」を配したデザインのバスケットを、宮城県の店舗では「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050」のキャラクターを配したデザインのバスケットを、利府町の店舗では利府町公式キャラクター「十符の里の妖精リーフちゃん」を配したデザインのバスケットをそれぞれ販売します。

イオンはこれからも、持続可能な社会の実現を目指し、地域の皆さまや行政とともに、日々のくらしからできる取り組みを推進してまいります。

※一部取り扱いがない店舗があります。また、店舗によって品揃えは異なります。

【ご当地マイバスケットの概要】

●秋田県



発売日：2023年6月1日（木）

価格：本体362円（税込398.20円）

販売数：1,200個

展開店舗：秋田県内の「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」
「マックスバリュエクスプレス」「ザ・ビッグ」 計46店舗※

デザイン：あきたPRキャプテン「んだッチ」と
ストップ・ザ・温暖化あきたマスコットキャラクター「あすぴー」

んだッチ自己紹介：<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/33524>

秋田県温暖化対策課の取組をご紹介します！：<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/11023>

●宮城県



発売日：2023年6月1日（木）

価格：本体362円（税込398.20円）

販売数：1,000個

展開店舗：宮城県内の「イオン」「イオンスタイル」 計13店舗※（利府町内店舗は除く）

デザイン：「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050」のロゴマークやキャラクター

みやぎゼロカーボンチャレンジ2050ポータルサイト：<https://zero-carbon2050.pref.miyagi.jp/>

●利府町



発売日：2023年6月1日（木）

価格：本体362円（税込398.20円）

販売数：200個

展開店舗：「イオンスタイル新利府」「ザ・ビッグ新利府店」 計2店舗※

デザイン：利府町公式キャラクター「十符の里の妖精リーフちゃん」

リーフちゃんのお部屋：<https://www.town.rifu.miyagi.jp/gyosei/soshikikarasagasu/syoukoukankou/kankou/1/1/3887.html>

※一部取り扱いがない店舗があります。また、店舗によって品揃えは異なります。

ご参考

●「イオン プラスチック利用方針」について（2020年9月策定）

イオンは、脱炭素社会の実現に向けて、持続可能なプラスチック利用に取り組みます。店舗・商品・サービスを通じて、全てのステークホルダーの皆さまとともに、脱炭素型かつ資源循環型の新たなライフスタイルの定着を進めてまいります。

1. 事業活動における資源の無駄使いや使い捨て型の利用を見直し、使い捨てプラスチックゼロを目指します。
2. 必要なプラスチックは化石由来から環境・社会へ配慮した素材へ転換します。
3. 店舗を拠点に使用済プラスチックの回収・再利用・再生する資源循環モデルを構築し、お客さまとともに持続可能な資源利用に取り組みます。

〈目標〉 CO₂排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指し、

- ・ 2030年までに、使い捨てプラスチック使用量を2018年比で半減します。
- ・ 2030年までに、全てのPB商品で環境・社会に配慮した素材を使用します。
- ・ 2030年までに、PB商品のPETボトルを100%再生又は植物由来素材へ転換します。

●「買物袋持参運動」の取り組み

イオンは1999年から、お客さまにマイバッグ持参を呼びかける「買物袋持参運動」を開始しました。2007年には、チェーンストアとして初めて食品レジでのレジ袋無料配布中止を実施しました。

2019年には、トップバリュよりリサイクル原料を使った買い物袋・マイバッグの販売を開始しました。本商品を繰り返しご利用いただくことで、使い捨てプラスチックの削減を図ります。



●店頭回収されたトレーから作られた「エコトレー」を積極的に使用

イオン東北では、店頭回収を通じて集められたトレーやペットボトルを原料に作られたリサイクルトレー「エコトレー」を積極的に使用しています。

「エコトレー」は、新しい化石由来プラスチックから作られた「バージントレー」と比べ、製造工程におけるCO₂排出量を約30%削減できます。



●木製・紙製のカトラリーへの切り替えについて

イオン東北では、使い捨てプラスチック削減の取り組みをさらに推進するため、2022年4月より順次、店頭で無料配布していた使い捨てプラスチック製のカトラリーを木製・紙製に切り替えております。

この取り組みにより、年間で約855万本もの使い捨てプラスチック製カトラリーを削減できます。

